

新型転換炉原型炉施設原子炉施設保安規定(46次改正) の再補正申請について

2020年12月22日

新型転換炉原型炉ふげん

1. 概要

新型転換炉原型炉施設廃止措置計画変更認可申請書(以下「廃止措置計画」という。)の補正申請を行う過程において、2020年5月11日に変更申請し、2020年8月31日に補正申請した新型転換炉原型炉施設原子炉施設保安規定(以下「保安規定」という。)別表第4「廃止措置計画に基づく性能維持施設」での数値の誤記載が2020年12月14日に4か所確認された。このため、変更申請範囲において十分な確認を行い、保安規定の再補正を行うこととした。

再確認の結果、既に報告した4か所の誤りを含め、数値や単位その他、字句等19か所の誤記を確認し、修正した。

2. 修正及び確認方法

担当課によるデータ作成時の根拠資料からの転記ミスが原因であったことから、品質管理上の不適合管理を行うとともに、作業計画書を作成し以下について実施した。

○根拠資料の選定から誤り箇所への修正まで、担当課において2チームによる確認を実施

○さらに品質保証課による担当課の確認結果について第三者チェックを実施

また、所内の審議において、それらの確認プロセスの検証を行い、修正箇所は根拠資料により適切に修正されており、その他誤記がなく、再補正の申請内容に問題のないことを確認した。

3. 本誤記箇所に係る安全上の影響

性能維持施設に係る誤記において安全側ではない記載があるものの、設備・機器の運用については、操作手順書に基づき適切に運用されている他、検査等の判定に影響はなく、安全上の問題はないことを確認した。

4.誤記一覧

別表第4

黄色網掛け部は、2020年12月14日に報告済み

No.	項目	正	誤
1	機器ドレン処理系上澄水タンク容量	20m ³	25m ³
2	非常用ガス処理系におけるブロー容量	1,110Nm ³ /h	1,100Nm ³ /h
3	保物室換気系における送風機容量	49,800m ³ /h	49,500m ³ /h
4	タービン建屋換気系における補助ボイラ室用排風機容量	84,400m ³ /h	2,000m ³ /h
5	原子炉補機冷却水ポンプ容量	1,248m ³ /h	1,250m ³ /h
6	外周壁(生体遮へい体)における主要寸法(単位)	cm	mm
7	廃棄物処理建屋排気筒モニタダストモニタ種類	NaI(Tl)シンチレー ション	半導体検出器
8	原子炉補機冷却海水ポンプ種類	立形斜流ポンプ	縦置き単段斜流ポ ンプ
9	受電系統の設備(建屋)名称	275kV 77kV	275kv 77kv
10	海水系における設備(建屋)名称	原子炉補機冷却 系海水ポンプ	原子炉補機冷却 海水ポンプ
11	固体廃棄物貯蔵庫における性能欄	有意	優位
12	屋外管理用の主要な設備における設備(建屋)名称	気象観測設備	気象観測装置

4.誤記一覧

別表第4(つづき)

No.	項目	正	誤
13	換気設備における設備(建屋)名称	原子炉補助系統 換気系	原子炉補助建屋 換気系
14	ディーゼル発電機における性能欄	遮断器	遮断機
15	非常用電源設備蓄電池の設備(建屋)名称	所内用	二
16	施設区分における罫線	罫線あり	罫線なし
17	施設区分	主要な設備	その他原子炉の 附属設備
18	余熱除去系における種類及び容量	種類:横置単段渦 巻式 容量:250m ³ /h	種類:横置多段渦 巻式 容量:約250m ³ /h

別表第1-1:プロセスの管理文書

No.	項目	正	誤
1	本品質マネジメント計画関連条項	8.5.2(2) 8.5.3(1)	8.5.2(3) 8.5.3(3)